

各 位

弊社光工場敷地における地下水汚染と近隣井戸の水質調査の実施について

1. 経緯

弊社光工場は、当社の主力工場として、溶接用ソリッドワイヤおよび溶接用フラックス入りワイヤ並びに被覆アーク溶接棒を製造しております。このうち、溶接用ソリッドワイヤ製造ラインの電気銅めっき設備の基礎強化工事を計画化するため、事前にボーリング調査を実施致しました。

その際、ボーリングで採取した土壌にめっき液特有の臭いがあったため、第三者である環境関連調査専門会社に工場敷地内の調査をお願い致しました。工場の敷地境界近くに7本の観測井戸を掘り、調査を行いました。

10月31日、調査結果を受領致しましたところ、敷地の南側の境界に掘った観測井で採取した水から電気銅めっき工程で使用するめっき液に含まれるシアン化合物が検出されたことが確認されました。

これを受け、弊社と致しましては、念のため、工場周辺にお住まいの近隣住民の方々が所有されている井戸について水質調査を行わせていただく考えであります。

水質調査の実施に当たりましては、行政当局のご指導とご協力を頂戴して、調査対象とする井戸を速やかに特定し、所有される住民皆様に説明し、ご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

なお、これまでも光工場におきましては、工場敷地南側の既設観測井の井戸水を定期的に社内検査を実施してきており、春の定期検査時までは、不検出であったことを申し添えます。

2. 現状の対応状況と今後の対策

- 1) 既設の観測井で毎日地下水分析を実施しております。
- 2) 最優先で敷地境界からの汚染拡大防止を進めるべく、できる限り速やかに対策を実施致します。
- 3) 汚染発生源の可能性のあるめっき設備のFRP（強化ガラス繊維樹脂）表面を欠陥検査装置及び目視により検査を開始しており、必要に応じ速やかに漏洩防止策を講じて参ります。
- 4) めっき槽下部の防液堤がめっき液流出防止という本来の機能を十全に果たしているかを点検し必要な措置を速やかに講じる予定であります。
- 5) 汚染土壌の浄化対策について、既に専門会社に提案を指示しており、対策方案を決定後できるだけ早期に実行に移す予定であります。

以 上

平成20年11月4日
日鐵住金溶接工業(株)
光工場

＜本件に関するお問い合わせ先＞
光工場管理グループ長

ひびお たつや
日比生 龍哉

0833-71-3390